



JR東労組 八王子

HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

執行委員長 針谷 歩

2022/3/2 №82

JR東労組 八王子地本第23回定期委員会 委員会宣言

委員会宣言(案)

本日、JR東労組八王子地本は第23回定期委員会を三多摩労働会館にて開催し、スローガンや運動方針を含め、厳しい情勢下でも組合員の声をもとにした、たたかいの成果と課題を共有化し、職場からの実践により組織強化・拡大を推し進める運動方針を満場一致で確認した。

八王子地本は、昨年7月定期大会を開催し、各職場に置き去りにされた組合員との繋がりを少しずつ構築しつつ、組合員の声をもとにした運動を展開し、少しずつだが歩み始めている。18春闘以前の上意下達の運動から脱却し、組合員の信頼を取り戻し、「新生 JR 東労組運動宣言」に則り、組合員を置き去りにせず、共に歩み、共に悩み、組合員の声をもとにした運動づくりを更に実践していく。

22春闘は、JR総連方針に基づき「ベア一律6,000円」を要求してたたかいをつくってきた。JR東日本会社が、21春闘で「ベアゼロ」「定昇2カット」、期末手当では「年間4カ月」の回答を行ったことは、職場の努力に報いているものとは到底言えず、組合員から不満や不信感などに加え、生活に対する不安と人材流出を危惧する声が高まっている。赤字・コロナ禍で私たちの仕事は過去最高の働き度になっている反面、賃金は大きく減少した。今年は物価上昇が予測され、私たちの生活はより苦しくなる。そのような中、職場の努力により、対前年の収益が向上、2021年10～12月は黒字、会社計画より好調である。定期昇給の完全実施とベースアップを行わない理由はない。全組合員一丸となって、要求実現に向けたたたかい抜こう。

JR東日本会社は赤字経営に直面し、「変革2027」は変革のスピードを加速させ、様々な施策が矢継ぎ早に展開されてきている。八王子支社は柔軟な働き方の実現に向け3月のダイヤ改正以降、3つの地区を廃止し、6つの営業統括センターを開設する。解明交渉を行い、会社の言う「構造改革・柔軟な働き方」の全体像が見えてきた。この先は組織の再編も行われる。このような矢継ぎ早の施策が現場では説明しきれず、会社組織の限界が見えている。「柔軟な働かせ方」にさせないため、これから基本交渉に臨んでいく。たたかいのポイントは「安全と労働時間管理」である。労働組合として安全や労働条件を守るために、「新たな施策に対する5本柱」をもとに、是々非々で立ち向かっていく。

八王子地本はこれからも、座談会や組合員ミーティングなどの職場運動を通じて、みんなで作る八王子地本を目指していこう。小回りの利く八王子地本は組合員の声にこだわり、労働者の権利と要求実現のため組織強化と組織拡大を実現していこうではないか。

以上、宣言する。

2022年 2月 26日
東日本旅客鉄道労働組合
八王子地方本部
第23回定期委員会